

「消防学校ニュース」

平成 28 年 9 月 30 日発行

◆初任科第85期 112人が修了式！ ー現場へ赴く消防士たちの門出ー

9月27日(火)、初任科第85期の112人(県内16消防本部)の修了式を行いました。県内各消防本部の消防長や御家族も同席し、教育訓練の修了、明日から現場に赴く若き消防士たちの門出を祝福しました。6か月間の厳しい教育訓練をやり遂げて初任科を修了し、どの顔にも入校当時と比べ格段の逞しさと秘める信念が見て取れます。

修了式では、原田揚一静岡県危機管理監代理、望月昇静岡県消防長会会長(静岡市消防局長)から大いなる期待と力強い励ましの言葉をいただき、学生たちは胸に刻み込みました。

そして、「これから現場で困難にぶつかるが、消防学校での厳しい訓練と共に頑張り支えあった仲間を思い出し、必ず乗り越える。常に学生を見守り全力で指導に当たってくれた教官や学校への恩は、これから全力で働くことで恩返しする。」と決意を力強く答辞しました。

静岡県危機管理監代理祝辞



静岡県消防長会会長祝辞



修了証書授与



修了生代表答辞



式終了後の帽子投げ



◆平成28年度・県新規採用職員研修(消防学校訓練)

本年度の静岡県新規採用職員に対する教育訓練を、9月28日(水)から3日間実施しました。192人が3班に分かれて連日來校し、朝8時半から16時半まで、消防学校教官の指導と安

放水訓練の様子



全管理の下、緊張感を持って、現場体験をしてもらいました。訓練内容は、消防の規律訓練、ロープ結索訓練、傷病者搬送訓練、建物火災を想定

した放水訓練、暗室濃煙迷路での避難訓練など基礎的な内容で、災害の現場ですぐに役に立つものばかりです。東海地震や南海トラフ巨大地震などの大規模地震発生時には、県職員全員が防災要員となります。消防学校での訓練体験により、災害時における規律ある行動を体得するとともに、防災技術と自覚が養われたと思います。

規律訓練(集合、整列)の様子

